

教育長 殿

宮城県多賀城学校  
校長 小野 敬弘 印

令和6年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- 1 SSH事業の推進
- 2 学習・進路指導の充実
- 3 生徒指導・教育相談体制の充実
- 4 防災・減災・伝災教育の充実
- 5 ICT教育環境の充実

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	教育課程の効果的な運用と改善 ①及び学習評価についての研究・検討	B	SSH第2期の指定や、大学入試科目の動向を踏まえながら継続的に新学習指導要領の分析・研究を行う。観点別評価を中心とした評価の方法や基準について、教務規程の運用の仕方や、規程の改訂も視野に入れた研究と検討を進める。	B	A
	②ベルと同時の授業開始の徹底	B	おおよそ達成できているが、授業の準備が不十分で、ベルの後に学習用具の準備を始める生徒が少なからずいる。時間割の確認や、スケジュール管理の習慣を徹底させる。	B	A
	③ 授業力向上を目指した授業評価と互見授業の実施	B	授業評価アンケートを実施し、各授業における細かなデータを収集・集計しフィードバックを行っているが、データ量が膨大で、処理作業の労力が成果と比例していない面がある。より効果的で効率の良い方法を検討していく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業評価アンケートの事務的負担軽減、改善、存続の有無も含め早急に判断すべきと思う。</li> <li>・ アンケート結果を取り入れ安いものからでよいので、良い方向へ反映させてもらえればと思う。</li> </ul>				
生徒指導	① 基本的な生活習慣の確立	B	全職員が日常から声がけをするように取り組む。生徒主体の啓発活動を継続していく。	A	A
	② 自主自立の精神の育成	B	行事の企画・運営、部活動の取り組みにおいて、生徒自身で考え行動にうつすことができるようにする。	B	A
	③ 個に応じた指導	B	生徒個人の様々な環境や状況に応じて、全職員で対応していく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒のカウンセリング体制が素晴らしい。</li> <li>・ 生徒たちが挨拶してくる姿、様々な地域社会行事への貢献、安定した開かれた校風を今後も期待する。</li> <li>・ さらに生徒さんの良いところを伸ばす指導をしてほしい。</li> </ul>				
進路指導	① 進路達成に向けた学年ごとの取り組みの充実	B	学年ごとに創意工夫しながら生徒の進路意識向上に向けた取り組みをより一層サポートする。	A	A
	② 探究的な活動と進路実現への結びつけ	B	災害科学科については十分すぎるほど進路に結びついており、普通科へ波及させていく必要がある。	A	A
	③ 自主学習の重要性を意識させる指導及び外部模試の分析と共有	B	主体的かつ積極的に学習に取り組む生徒が増えつつあるが、その姿勢をより多くの生徒に広めていく。	B	A
	④ 生徒・保護者・教員に対するガイダンスや研修の充実	B	生徒向けのガイダンスについて精選することができたが、今後はより一層の内容の充実をさせていく。	B	A
学校関係者評価委員会における意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様性のある進路指導をしている。</li> <li>・ 志望の具体化が早くできるよう、今後も情報提供や面談を充実させ、生徒へのアドバイスを宜しく願いたい。</li> <li>・ 成果が上がっていると思う。</li> <li>・ 本人が求める以上の情報を与えて、将来をしっかりと考える手助けをお願いしたい。</li> </ul>				
特色ある学校づくり	① 防災教育のパイロットスクールとしての防災・減災・伝災の取組と発信	B	防災・減災・伝災に関して地域フィールドでの体験的活動に基づく探究活動から得られた成果を国内外、地元地域との交流活動を通じて発信していく。	A	A
	② SSH第2期におけるの特色ある科目の研究	B	コンピテンシーベースの授業改善の実施ができています。今後は評価法の充実、県内外へのSSH事業の成果の普及・波及を図る。	A	A
	③ ICTを活用した学習活動	B	ICT機器の活用に必要な環境を整備するとともに、機器を活用した分析方法(データ分析のプログラミング)について学習させる。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニークな教育方針で取り組んでいる。</li> <li>・ 防災・SSH活動については、発表・発信、交流、視察等々という素晴らしい取組を高く評価する。</li> <li>・ 防災・減災活動は、多賀城高校にしかできないものがたくさんあると思う。是非継続をお願いしたい。</li> </ul>				

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 授業評価内容と方法の工夫	ロイノート等を利用した授業評価の新たなフォームを作成し、業務の軽減を図りたい。
② 交通マナーの指導の徹底	通学路に坂が多いこともあるが、自転車事故が12件と多かつたため、マナー指導等を徹底したい。
③ 学校の情報の発信	ホームページ内容の充実を図ったり、eメッセージ等を利用した情報発信も行っていく。